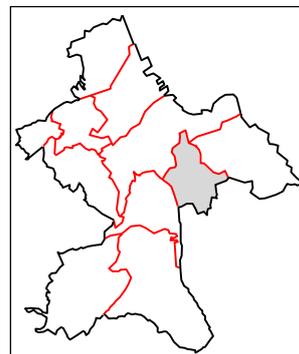


7. 大館地区

(1) 関係集落名

新井田、塩入、妙、大開、松館、十日市



(2) 農業構造

① 農家

農家数の推移

(単位：戸)

区分	農家数	販売農家数※1	自給的農家数※2
平成 22 年	195	71	124
平成 27 年	181	67	114
令和 2 年	142	39	103

※1 販売農家：経営耕地面積が 30a 以上又は調査期日前 1 年間における農産物販売金額が 50 万円以上の農家。

※2 自給的農家：経営耕地面積が 30a 未満で、かつ、調査期日前 1 年間における農産物販売金額が 50 万円未満の農家。

◇農林業センサスより

② 耕地面積

耕地面積の推移

(単位：ha)

区分	総面積	田	畑
平成 22 年	307	76	231
平成 27 年	281	68	213
令和 2 年	275	66	209

※ 耕地：農作物の栽培を目的としている土地のことをいい、けい畔を含む。

◇八戸市調べ

③農業経営体

(a) 経営耕地面積規模別経営体数の推移

(単位：経営体数)

区分	経営体数	1 ha未満	1 ha以上 2 ha未満	2 ha以上 3 ha未満	3 ha以上 5 ha未満	5 ha以上
平成22年	73	57	9	2	-	5
平成27年	67	50	9	3	-	5
令和2年	42	34	1	3	-	4

※1 農業経営体：農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、規定に該当する事業を行う者。

※2 経営耕地：農業経営体が経営している耕地をいい、けい畔を含む。自ら所有し耕作している耕地と、他から借りて耕作している耕地の合計。

◇農林業センサスより

(b) 農業経営組織別経営体数の推移

(単位：経営体数)

区分	販売のあった経営体数	単一経営						複合経営
		稲	野菜	果樹	花き	畜産	その他	
平成22年	45	29	-	2	2	6	2	4
平成27年	37	25	1	4	1	4	-	2
令和2年	19	9	4	2	1	2	-	1

◇農林業センサスより

(c) 農産物販売金額規模別経営体数の推移

(単位：経営体数)

区分	販売のあった経営体数	50万円未満	50万円以上 300万円未満	300万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上
平成22年	45	28	8	1	4	4
平成27年	37	27	3	-	4	3
令和2年	19	9	6	-	3	1

◇農林業センサスより

(d) 農産物販売金額 1 位の出荷先別経営体数の推移 (単位：経営体数)

区分	販売のあった経営体数	農協	集出荷団体	卸売市場	小売業者
平成 22 年	45	5	18	3	11
平成 27 年	37	5	16	2	10
令和 2 年	19	3	6	3	2

食品製造・ 外食産業	消費者に 直接販売	その他
2	5	1
-	2	2
-	4	1

◇農林業センサスより

(e) 借入耕地のある経営体数と借入耕地面積の推移 (単位：経営体数、ha)

区分	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 22 年	9	34	5	9	4	25
平成 27 年	9	35	6	11	4	24
令和 2 年	6	16	4	12	2	4

◇農林業センサスより

(f) 貸付耕地のある経営体数と貸付耕地面積の推移 (単位：経営体数 ha)

区分	計		田		畑	
	経営体数	面積	経営体数	面積	経営体数	面積
平成 22 年	21	21	14	6	13	15
平成 27 年	24	27	12	4	16	23
令和 2 年	8	4	6	2	3	2

◇農林業センサスより

(3) 立地条件及び農業生産の特色

市の南東部に位置し、河川に沿って水田が開けていますが、耕地面積の 8 割は畑となっています。

水稻、露地野菜栽培を基幹とした経営が多いものの、施設花き栽培及び畜産等多様な農業生産が展開されています。

しかしながら、市街地に隣接し、混住化が進んでいます。

(4) 主に生産されている農畜産物

水稻、花き、乳牛

(5) 振興方向

都市的土地利用との調整を長期的かつ計画的に図り、水稻については、国の制度等を利用しながら、基盤整備を進め、主食用及び加工用として生産を継続するとともに、現在、定着している花き、乳牛等の農畜産物については、省力・低コスト生産を促進します。

また、水稻に関する集落営農組織が設立されており、さらなる生産面積の拡大を目指します。

(6) 振興する農畜産物

水稻、花き、乳牛